

2023年1月19日

各 位

マネックスグループ株式会社  
代表執行役社長 CEO 松本 大  
(コード番号 8698 東証プライム)

**第30回「MONEX グローバル個人投資家サーベイ 2022年12月調査」**  
**～3地域の個人投資家とも世界の株式市場見通し DIは大幅に低下～**

本日、当社のグループ会社であるマネックス証券株式会社、TradeStation Securities, Inc.およびMonex Boom Securities (H.K.) Limited が、共同で下記プレスリリースを行いましたので、お知らせいたします。

記

マネックス証券株式会社 プレスリリース (添付)

**第30回「MONEX グローバル個人投資家サーベイ 2022年12月調査」**  
**～3地域の個人投資家とも世界の株式市場見通し DIは大幅に低下～**

(報道関係者様のお問い合わせ先)

マネックスグループ株式会社 コーポレートコミュニケーション室 加藤 電話 03-4323-8698

(株主・投資家様のお問い合わせ先)

マネックスグループ株式会社 経営管理部 IR担当 仲野、小森 電話 03-4323-8698

2022年1月19日

関係各位

マネックス証券株式会社  
TradeStation Securities, Inc.  
Monex Boom Securities (H.K.) Limited

## 第30回「MONEX グローバル個人投資家サーベイ 2022年12月調査」

### ～3地域の個人投資家とも世界の株式市場見通し DI は大幅に低下～

マネックス証券株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：清明祐子）は、グループ会社である TradeStation Securities, Inc.（本社：米国フロリダ州、Peter Korotkiy, President）および Monex Boom Securities (H.K.) Limited（本社：中国（香港）、Ivan Law, COO）の3社共同で2022年12月14日から12月27日の間に第30回「MONEX グローバル個人投資家サーベイ」を実施しました。

2022年は株式市場にとって非常に厳しい1年となりました。日経平均株価は年間でマイナス9.4%、ダウ平均株価はマイナス8.8%とそれぞれマイナスのパフォーマンスとなりました。さらに、東証マザーズ指数はマイナス26%、ナスダック総合指数はマイナス33.1%と非常に大きなマイナスを記録しています。

非常に厳しいパフォーマンスだった最大の理由は、米国のFRBが歴史的に見ても速いペースで金融引き締めを進めたことにあります。今後米国が景気後退に陥るのではとの見方も出ており、2023年も予断を許さないマーケットとなりそうです。

### 1. グローバル調査結果 調査対象：日本、米国、中国（香港）の個人投資家

世界の株式市場見通し DI<sup>(注)</sup> は3地域の個人投資家とも大幅に低下

[参照：別紙レポート 2 ページ グラフ 1]

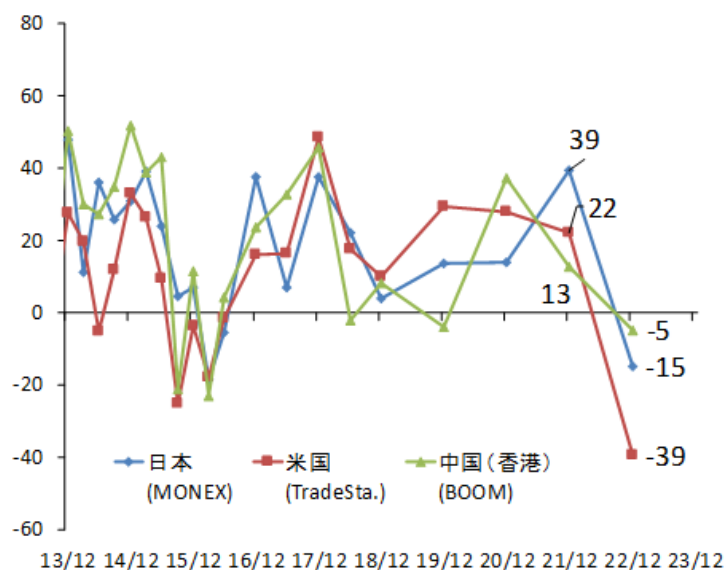
各地域の個人投資家に今後3ヶ月程度の世界の株式市場に対する見通しをたずねたところ、日本、米国、中国（香港）の投資家いずれも前回調査（2021年12月実施）からDIが大きく低下し揃ってマイナスとなりました。特に米国は前回調査から61ポイントの大幅な悪化となっています。

#### 【世界の株式市場見通し DI】

日本： (2021年12月) 39 → (2022年12月) -15 (前回比-54ポイント)  
米国： (2021年12月) 22 → (2022年12月) -39 (前回比-61ポイント)  
中国（香港）： (2021年12月) 13 → (2022年12月) -5 (前回比-18ポイント)

## グラフ1: 個人投資家の世界の株式市場に対する見通しDI

(日本、米国、中国(香港)の個人投資家)



(出所)マネックス証券作成

(注) DI (diffusion index) : 「上昇すると思う」、「よくなると思う」と回答した割合 (%) から「下落すると思う」、「悪くなると思う」と回答した割合 (%) を引いたポイント

### 米国の個人投資家は米国への期待が最も高い割合に

[参照 : 別紙レポート 3 ページ グラフ 2-1~2-4]

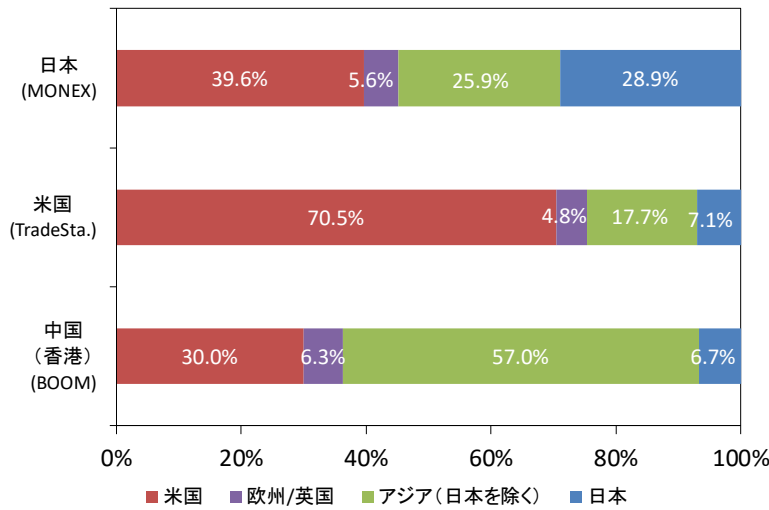
今後3ヶ月で株価の上昇が最も期待できる地域について米国と日本の投資家は「米国」と回答した割合が最も高く、中国(香港)の投資家は「アジア(日本を除く)」と回答した割合が最も高くなりました。

### 【今後3ヶ月のマーケットへの期待度】

日本	米国 : 39.6%、欧州/英国 : 5.6%、アジア(日本を除く) : 25.9%、日本 : 28.9%
米国	米国 : 70.5%、欧州/英国 : 4.8%、アジア(日本を除く) : 17.7%、日本 : 7.1%
中国(香港)	米国 : 30.0%、欧州/英国 : 6.3%、アジア(日本を除く) : 57.0%、日本 : 6.7%

グラフ2-1: 今後3か月程度で、どの地域のマーケットが上昇すると思いますか

(日本、米国、中国(香港)の個人投資家)



(出所)マネックス証券作成

### 3 地域の個人投資家による 2023 年の米国マーケット予想

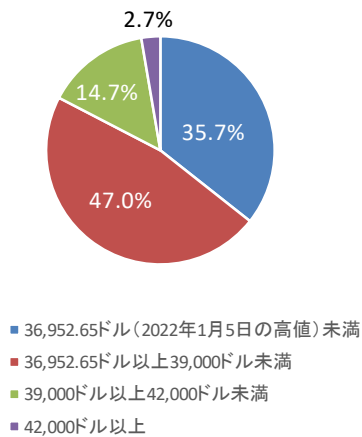
[参照：別紙レポート 5 ページ グラフ 3-1～3-6]

3 地域の投資家に 2023 年のダウ平均株価の高値予想、安値予想をたずねたところ 2023 年の高値予想について日本の投資家は、「(2022 年の高値である) 36,952.65 ドル～39,000 ドル未満」と回答した投資家の割合が最も高くなりました。一方で米国、中国(香港)の投資家は「(2022 年の高値である) 36,952.65 ドル未満」と回答した割合が最も高くなっています。安値予想については、日本の投資家が「(2022 年の安値である) 28,715.85 ドル以上」、米国の投資家が「26,000 ドル以上 (2022 年の安値である) 28,715.85 ドル未満」、中国(香港)の投資家が「23,000 ドル以上 26,000 ドル未満」と 3 地域の投資家で回答が分かれました。

【1月13日の終値：34,189.97 ドル】

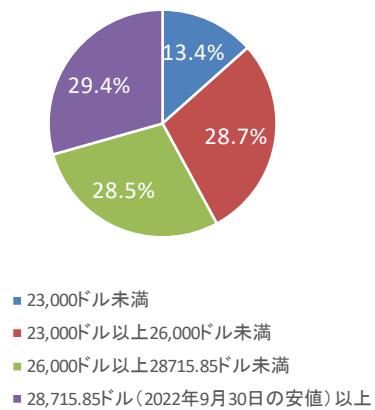
#### 【日本の個人投資家】

グラフ3-1: 2023年ダウ平均株価高値予想



(出所)マネックス証券作成

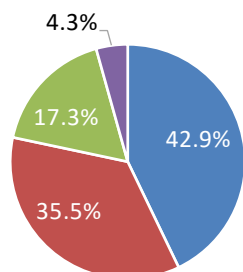
グラフ3-2: 2023年ダウ平均株価安値予想



(出所)マネックス証券作成

## 【米国の個人投資家】

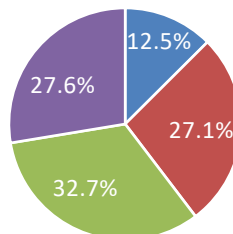
グラフ3-3: 2023年ダウ平均株価高値予想



- 36,952.65ドル(2022年1月5日の高値)未満
- 36,952.65ドル以上39,000ドル未満
- 39,000ドル以上42,000ドル未満
- 42,000ドル以上

(出所)マネックス証券作成

グラフ3-4: 2023年ダウ平均株価安値予想

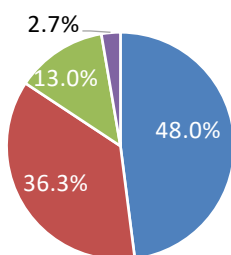


- 23,000ドル未満
- 23,000ドル以上26,000ドル未満
- 26,000ドル以上28,715.85ドル未満
- 28,715.85ドル(2022年9月29日の安値)以上

(出所)マネックス証券作成

## 【中国（香港）の個人投資家】

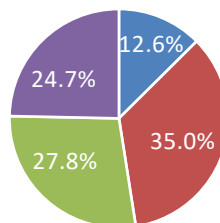
グラフ3-5: 2023年ダウ平均株価高値予想



- 36,952.65ドル(2022年1月5日の高値)未満
- 36,952.65ドル以上39,000ドル未満
- 39,000ドル以上42,000ドル未満
- 42,000ドル以上

(出所)マネックス証券作成

グラフ3-6: 2023年ダウ平均株価安値予想



- 23,000ドル未満
- 23,000ドル以上26,000ドル未満
- 26,000ドル以上28,715.85ドル未満
- 28,715.85ドル(2022年9月29日の安値)以上

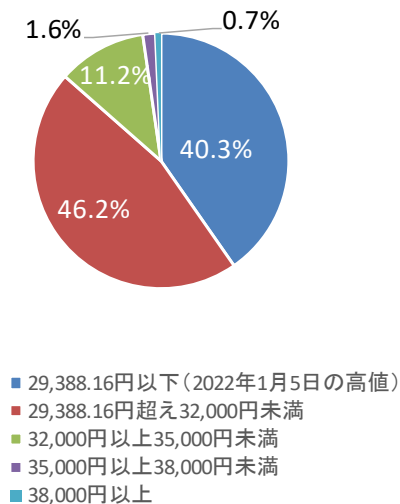
(出所)マネックス証券作成

## 2. 日本限定の調査結果（四半期に1回） 調査対象：日本の個人投資家

2023年の株価見通し、日経平均株価の高値予想は29,388.16円-32,000円未満が46.2%と最高 [参照：別紙レポート8ページ グラフ6-1～6-2]

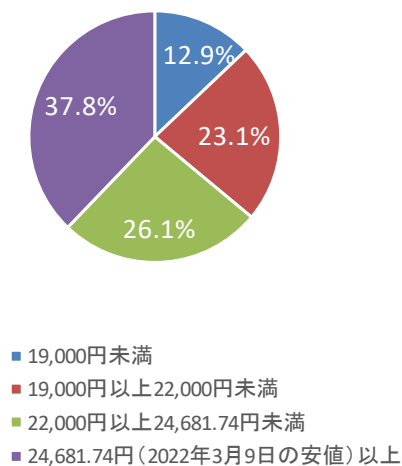
【1月13日の終値：34,189.97円】

グラフ6-1: 2023年日経平均株価高値予想



(出所) マネックス証券作成

グラフ6-2: 2023年日経平均株価安値予想



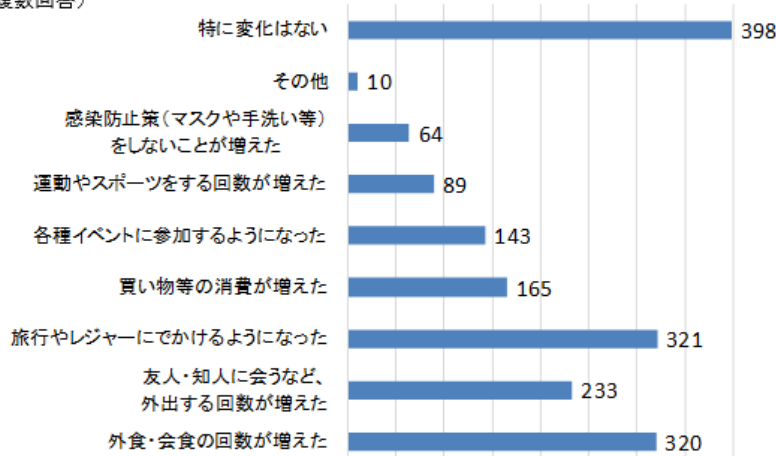
(出所) マネックス証券作成

### コロナ禍における行動制限緩和後の変化

新型コロナウイルスの感染拡大に伴う行動制限が解除されたあとの行動の変化について「特に変化はない」との回答が最も多かったものの、「旅行やレジャーにでかけるようになった」「外食・会食の回数が増えた」など積極的に外に出かけている様子もうかがえる結果となりました。

グラフ7-1: 行動制限緩和後の行動変化

(複数回答)



(出所) マネックス証券作成

・調査結果の詳細は添付の別紙レポートを参照ください。

(グラフの数値は、小数点以下の計算により合計が必ずしも 100.0%とならない場合があります。

以 上

#### 第 30 回「MONEX グローバル個人投資家サーベイ」の実施

日本、米国および中国（香港）における調査の実施概要は次のとおりです。

	日本	米国	中国（香港）
調査期間	2022年12月16日～ 12月23日	2022年12月14日～ 12月27日	2022年12月16日～ 12月23日
回答数	1,007件	623件	223件

#### 「MONEX グローバル個人投資家サーベイ」について

マネックス証券は 2009 年 10 月より、個人投資家を対象として相場環境についての意識調査のアンケートを実施し「MONEX 個人投資家サーベイ」として提供してきました。マネックスグループにおいて、日本に加え米国および中国（香港）にも証券事業の拠点ができたことを契機に、当該個人投資家サーベイの調査対象を米国および中国（香港）にも広げ、2011 年 6 月よりマネックス証券、TradeStation Securities, Inc.および Monex Boom Securities (H.K.) Limited の 3 社共同で「MONEX グローバル個人投資家サーベイ」を実施し、日本、米国および中国（香港）の個人投資家の相場環境についての意識を定点観測しております。

#### 【マネックス証券でのお取引に関する重要事項】

マネックス証券が扱う商品等には、価格変動等により元本損失・元本超過損が生じるおそれがあります。

投資にあたっては、契約締結前交付書面、目論見書の内容を十分にお読みください。

#### 【マネックス証券株式会社について】

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第 165 号

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人 第二種金融商品取引業協会

一般社団法人 金融先物取引業協会、一般社団法人 日本暗号資産取引業協会、

一般社団法人 日本投資顧問業協会

#### 【お問合せ先】

マネックス証券株式会社

経営企画部広報室 津川、福島 電話 03-4323-3981

# MONEX Global Retail Investor Survey



December 2022

MONEX グローバル個人投資家サーベイ 第30回 2022年12月調査 **マネックス証券株式会社**  
[www.monex.co.jp](http://www.monex.co.jp)

個人投資家の皆様の相場環境に対する意識調査のため、マネックス証券でお取引をする個人投資家の皆様に2022年12月16日～12月23日の期間でアンケートを実施しました。ご回答くださった皆様のご協力に感謝いたします。誠にありがとうございました。  
(当社ウェブサイトへの掲載日は、2023年1月19日です。)

今回は、グループ会社である TradeStation Securities, Inc. (米国) および Monex Boom Securities (H.K.) Limited (香港) の個人投資家の皆様にも同様のアンケートを行い、個人投資家の皆様の現在の相場観等を「MONEX グローバル個人投資家サーベイ」としてまとめました。グローバルな意識調査が資産運用の一助となれば幸いです。

「MONEX 個人投資家サーベイ」は2009年10月より、「MONEX グローバル個人投資家サーベイ」は2011年6月より実施しております。

※ 調査について

- ・MONEX グローバル個人投資家サーベイは、2011年6月～2016年6月までは原則四半期毎、2016年12月より半年毎、2019年より1年毎に調査しております。
- ・日本限定の個人投資家サーベイは、2009年10月から2016年4月までは毎月、2016年6月から2016年12月までは2ヶ月毎、2017年3月から現在まで四半期毎に調査しております。



## ■調査結果の要約

### 1. グローバル調査結果 調査対象：日本、米国、中国（香港）の個人投資家

#### (1-1) 世界の株式市場見通し DI<sup>(注)</sup> は3地域の個人投資家とも大幅に低下

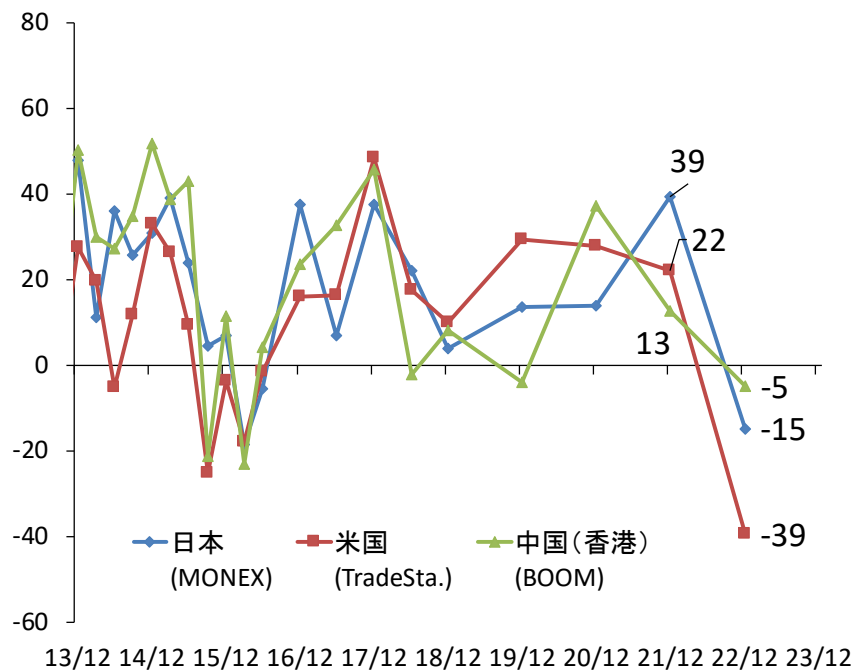
各地域の個人投資家に今後3ヶ月程度の世界の株式市場に対する見通しをたずねたところ、日本、米国、中国（香港）の投資家いずれも前回調査（2021年12月実施）からDIが大きく低下し揃ってマイナスとなりました。特に米国は前回調査から61ポイントの大幅な悪化となっています。

#### 【世界の株式市場見通し DI】

日本： (2021年12月) 39 → (2022年12月) -15 (前回比-54ポイント)  
 米国： (2021年12月) 22 → (2022年12月) -39 (前回比-61ポイント)  
 中国（香港）： (2021年12月) 13 → (2022年12月) -5 (前回比-18ポイント)

#### グラフ1：個人投資家の世界の株式市場に対する見通しDI

(日本、米国、中国(香港)の個人投資家)



(出所)マネックス証券作成

注) DI (diffusion index)

「上昇すると思う」、「よくなると思う」と回答した割合 (%) から「下落すると思う」、「悪くなると思う」と回答した割合 (%) を引いたポイント

## (1-2) 米国の個人投資家は米国への期待が最も高い割合に

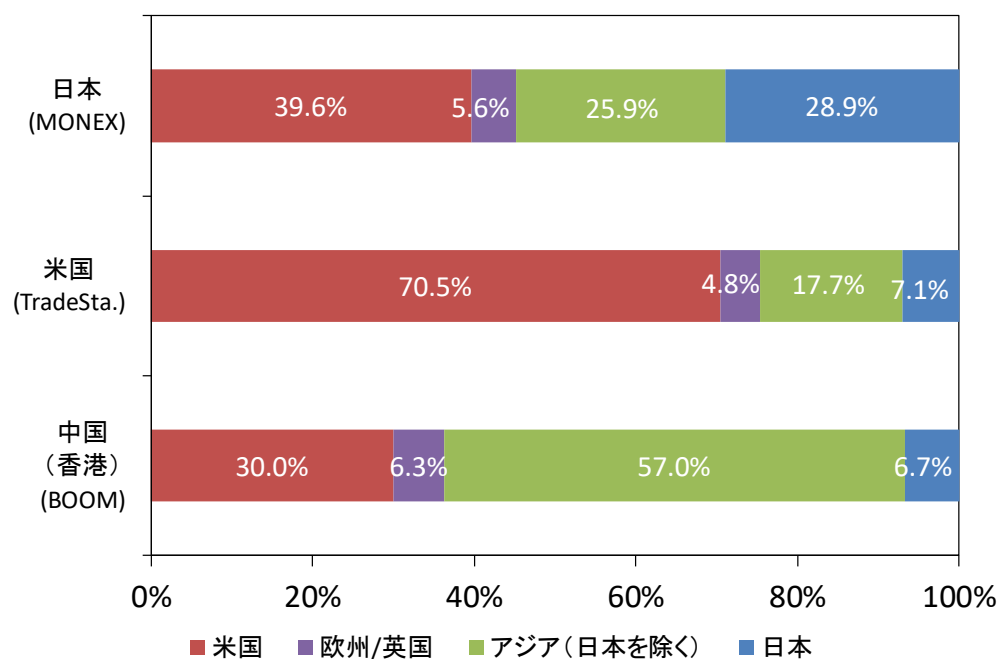
今後3ヶ月で株価の上昇が最も期待できる地域についてたずねました。米国と日本の投資家は「米国」と回答した割合が最も高く、中国（香港）の投資家は「アジア（日本を除く）」と回答した割合が最も高くなりました。

## 【今後3ヶ月のマーケットへの期待度】

日本	米国：39.6%、欧州/英国：5.6%、アジア（日本を除く）：25.9%、日本：28.9%
米国	米国：70.5%、欧州/英国：4.8%、アジア（日本を除く）：17.7%、日本：7.1%
中国（香港）	米国：30.0%、欧州/英国：6.3%、アジア（日本を除く）：57.0%、日本：6.7%

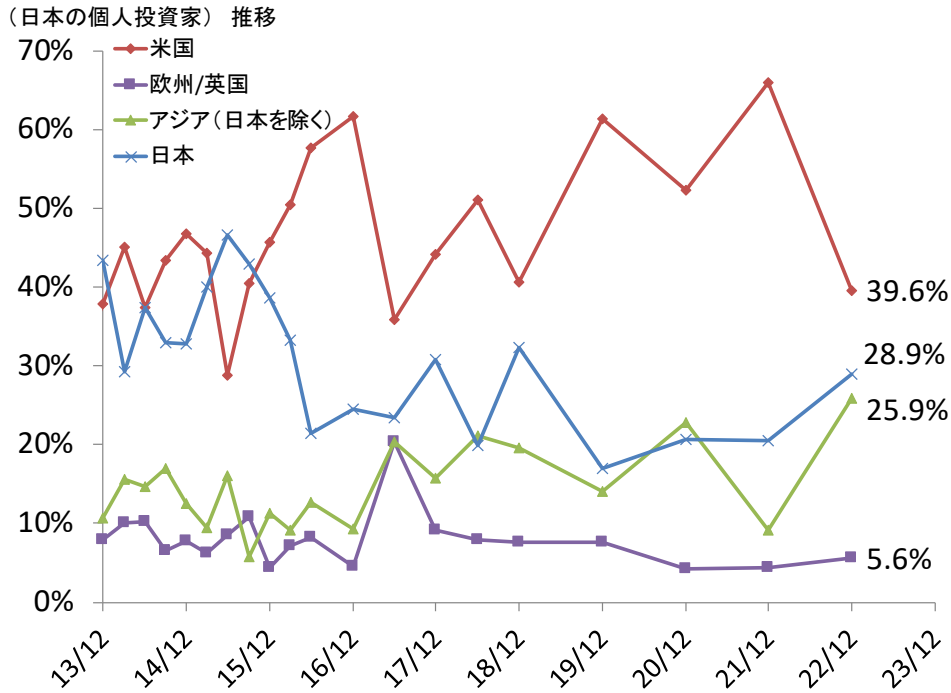
## グラフ2-1：今後3か月程度で、どの地域のマーケットが上昇すると思いますか

（日本、米国、中国（香港）の個人投資家）



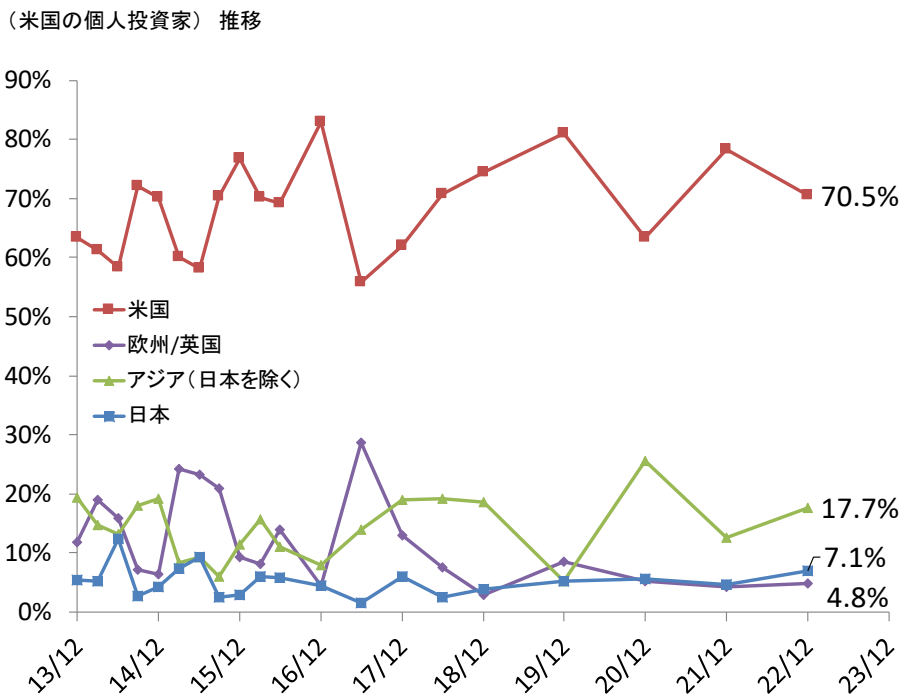
（出所）マネックス証券作成

グラフ2-2: 今後3か月程度で、どの地域のマーケットが上昇すると思いますか



(出所)マネックス証券作成

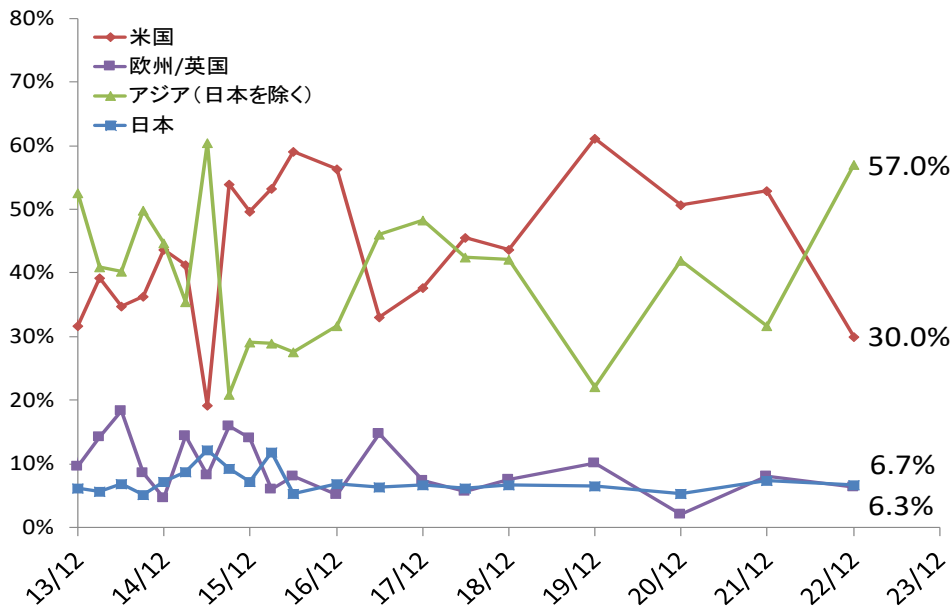
グラフ2-3: 今後3か月程度で、どの地域のマーケットが上昇すると思いますか



(出所)マネックス証券作成

グラフ2-4: 今後3か月程度で、どの地域のマーケットが上昇すると思いますか

(中国(香港)の個人投資家) 推移



(出所)マネックス証券作成

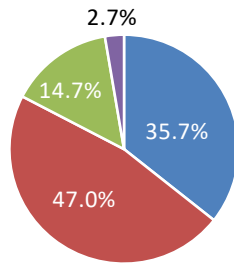
(1-3) 3地域の個人投資家による2023年の米国マーケット予想

3地域の投資家に2023年のダウ平均株価の高値予想、安値予想をたずねました。2023年の高値予想について日本の投資家は、「(2022年の高値である)36,952.65ドル~39,000ドル未満」と回答した投資家の割合が最も高くなりました。一方で米国、中国(香港)の投資家は「(2022年の高値である)36,952.65ドル未満」と回答した割合が最も高くなっています。安値予想については、日本の投資家が「(2022年の安値である)28,715.85ドル以上」、米国の投資家が「26,000ドル以上(2022年の安値である)28,715.85ドル未満」、中国(香港)の投資家が「23,000ドル以上26,000ドル未満」と3地域の投資家で回答が分かれました。

【1月13日の終値: 34,189.97ドル】

【日本の個人投資家】

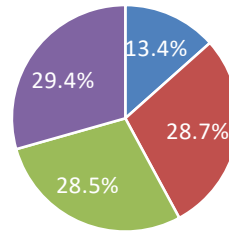
グラフ3-1: 2023年ダウ平均株価高値予想



- 36,952.65ドル(2022年1月5日の高値)未満
- 36,952.65ドル以上39,000ドル未満
- 39,000ドル以上42,000ドル未満
- 42,000ドル以上

(出所)マネックス証券作成

グラフ3-2: 2023年ダウ平均株価安値予想

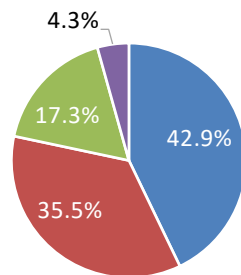


- 23,000ドル未満
- 23,000ドル以上26,000ドル未満
- 26,000ドル以上28,715.85ドル未満
- 28,715.85ドル(2022年9月30日の安値)以上

(出所)マネックス証券作成

【米国の個人投資家】

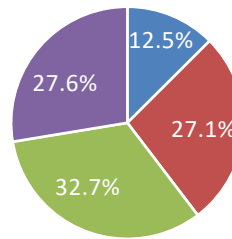
グラフ3-3: 2023年ダウ平均株価高値予想



- 36,952.65ドル(2022年1月5日の高値)未満
- 36,952.65ドル以上39,000ドル未満
- 39,000ドル以上42,000ドル未満
- 42,000ドル以上

(出所)マネックス証券作成

グラフ3-4: 2023年ダウ平均株価安値予想

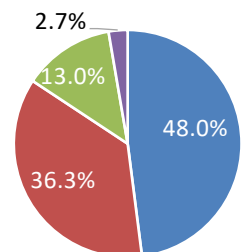


- 23,000ドル未満
- 23,000ドル以上26,000ドル未満
- 26,000ドル以上28,715.85ドル未満
- 28,715.85ドル(2022年9月29日の安値)以上

(出所)マネックス証券作成

【中国(香港)の個人投資家】

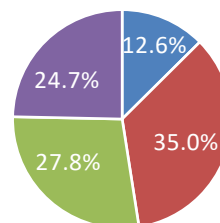
グラフ3-5: 2023年ダウ平均株価高値予想



- 36,952.65ドル(2022年1月5日の高値)未満
- 36,952.65ドル以上39,000ドル未満
- 39,000ドル以上42,000ドル未満
- 42,000ドル以上

(出所)マネックス証券作成

グラフ3-6: 2023年ダウ平均株価安値予想



- 23,000ドル未満
- 23,000ドル以上26,000ドル未満
- 26,000ドル以上28,715.85ドル未満
- 28,715.85ドル(2022年9月29日の安値)以上

(出所)マネックス証券作成

## 2. 日本限定の調査結果（四半期に1回） 調査対象：日本の個人投資家

### (2-1) 日本株 DI のみ上昇

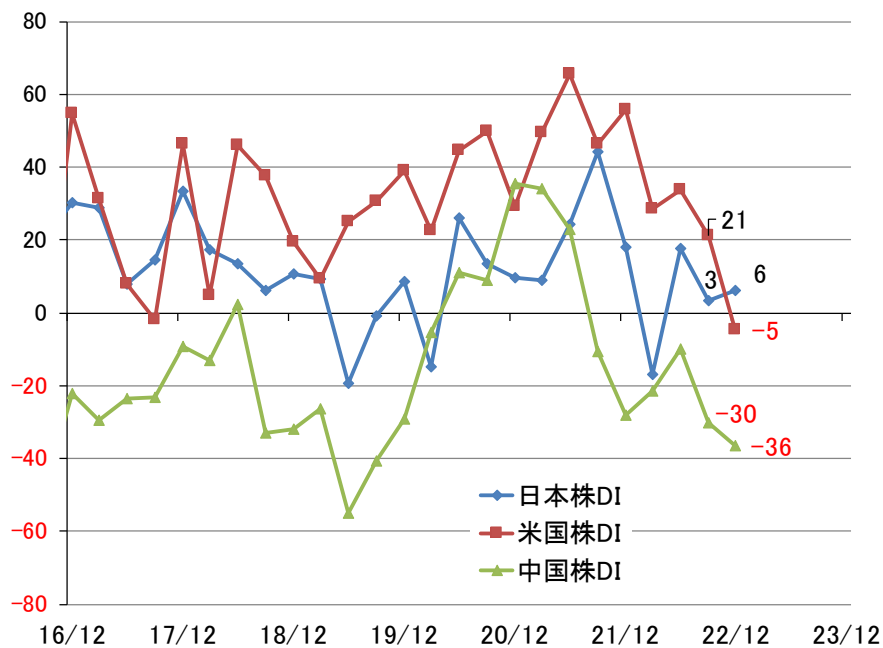
日本の個人投資家の今後3ヶ月程度の各国（日本、米国、中国）株価の見通しは、日本株 DI のみ前回調査から3ポイント上昇し、米国株 DI と中国株 DI は低下してそれぞれマイナス圏となりました。

【日本株 DI】（2022年9月） 3 →（2022年12月） 6（前回比 +3ポイント）

【米国株 DI】（2022年9月） 21 →（2022年12月） -5（前回比 -26ポイント）

【中国株 DI】（2022年9月） -30 →（2022年12月） -36（前回比 -6ポイント）

グラフ5-1: 今後3ヶ月程度の株価予想



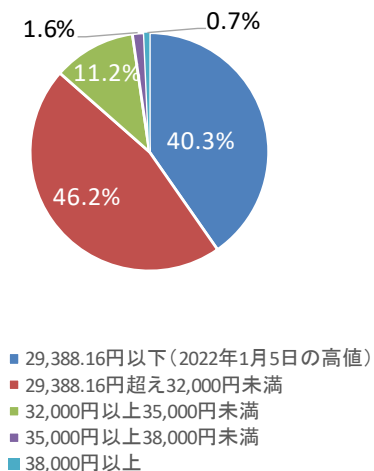
（出所）マネックス証券作成

### (2-2) 日経平均株価の高値予想は 29,388.16 円-32,000 円未満が 46.2%と最高

日経平均株価の2023年の高値および安値の予想をたずねました。日経平均株価の高値予想は「29,388.16 円-32,000 円未満」が46.2%と最も高くなりました。安値予想は「(2022年の安値である) 24,681.74 円以上」が37.8%と最も高くなっています。

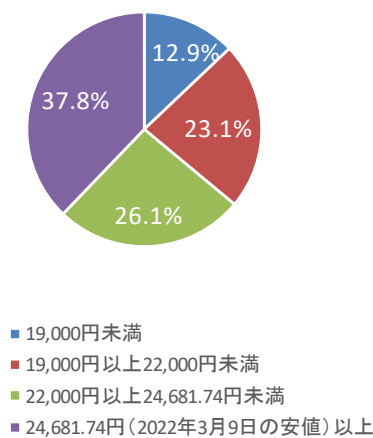
【1月13日の終値：34,189.97 円】

グラフ6-1: 2023年日経平均株価高値予想



(出所)マネックス証券作成

グラフ6-2: 2023年日経平均株価安値予想



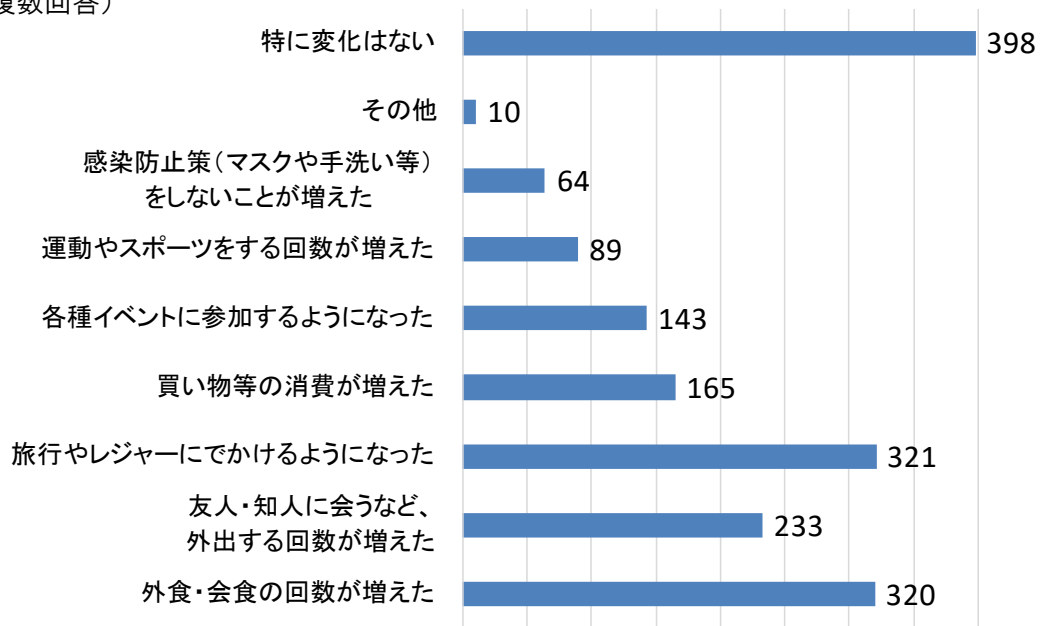
(出所)マネックス証券作成

### (2-3) コロナ禍における行動制限緩和後の変化

新型コロナウイルスの感染拡大に伴う行動制限が解除されたあとの行動の変化についてたずねました。「特に変化はない」との回答が最も多かったものの、「旅行やレジャーにでかけるようになった」「外食・会食の回数が増えた」など積極的に外に出かけている様子もうかがえる結果となりました。

#### グラフ7-1: 行動制限緩和後の行動変化

(複数回答)



(出所)マネックス証券作成

## 総括（マネックス証券 マーケット・アナリスト 益嶋裕）

「MONEX グローバル個人投資家サーベイ」、第30回の結果をお届けします。

2022年は株式市場にとって非常に厳しい1年となりました。日経平均株価は年間でマイナス9.4%、ダウ平均株価はマイナス8.8%とそれぞれマイナスのパフォーマンスとなりました。さらに、東証マザーズ指数はマイナス26%、ナスダック総合指数はマイナス33.1%と非常に大きなマイナスを記録しています。

非常に厳しいパフォーマンスだった最大の理由は、米国のFRBが歴史的に見て速いペースで金融引き締めを進めたことにあります。今後米国が景気後退に陥るのではとの見方も出ており、2023年も予断を許さないマーケットとなりそうです。少しでも個人投資家の皆様のお役に立てるよう来年も当社のアナリスト陣を中心として全社一丸となり情報発信に努めてまいります。

今回も皆様方のご協力で、大変貴重なデータを作成・分析することができました。本当にありがとうございました。今回のサーベイが個人投資家の皆様方の投資判断の一助となれば幸いです。

(2023年1月10日執筆)



## ■調査の概要と回答者の属性

### (日本)

調査方式： インターネット調査  
 調査対象： マネックス証券で取引をする個人投資家  
 回答数： 1,007 件  
 調査期間： 2022 年 12 月 16 日～12 月 23 日

#### 【性別】

男性	女性	回答しない
81.2%	17.5%	1.3%

#### 【年齢】

10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上
0.2%	2.1%	9.6%	22.9%	33.5%	22.2%	7.7%	1.7%

#### 【金融資産】

500万未満	500万～1000万	1000万超～2000万	2000万超～5000万	5000万超～1億	1億超
16.2%	17.0%	19.4%	25.1%	14.9%	7.4%

#### 【売買頻度】

デイトレ	週に数回	月に数回	数ヶ月に1回	それより少ない
3.9%	14.0%	31.6%	26.8%	23.7%

#### 【株式投資のご経験】

1年未満	1年～5年	5年～10年	10年超
6.5%	19.9%	18.9%	54.8%

### (米国)

調査方式： インターネット調査  
 調査対象： TradeStation Securities, Inc. で取引をする個人投資家  
 回答数： 623 件  
 調査期間： 2022 年 12 月 14 日～12 月 27 日

### (中国 (香港))

調査方式： インターネット調査  
 調査対象： Monex Boom Securities (H.K.) Limited で取引をする個人投資家  
 回答数： 223 件  
 調査期間： 2022 年 12 月 16 日～12 月 23 日

本情報はグループ各社が実施したアンケートに基づいて作成したものです。

- ・本情報は売買のタイミングなどを反映したものではなく、また示唆するものではありません。
- ・当社は記載した銘柄の取引を推奨し、勧誘するものではありません。
- ・当社は本情報の内容に依拠してお客様が取った行動の結果に対し責任を負うものではありません。
- ・銘柄選択や売買タイミングなどの投資にかかる最終決定は、お客様ご自身の判断と責任でなさるようお願いいたします。
- ・本サーベイは、グループ各社において実施したアンケートの集計結果をまとめたものでありグループ会社間において個人情報の授受は行っておりません。
- ・グラフの数値について小数点以下の計算により、合計が必ずしも 100.0% とならない場合があります。

## マネックス証券株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第 165 号

加入協会: 日本証券業協会、一般社団法人 第二種金融商品取引業協会、一般社団法人 金融先物取引業協会、  
一般社団法人 日本暗号資産取引業協会、一般社団法人 日本投資顧問業協会